

(様式第3号)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

[illegible]

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			無洗米の加工時に発生した肌ヌカを田んぼに循環させることで、従来の化学肥料の使用を減らす取組みをしている。いきものみつけファームの活動で、田んぼのいきもの観察を行なっている。		2.4					6.7						12.4 12.5		14	15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			使用済みの廃棄米袋、ポリ袋は産廃業者へ回収を行っています。店頭買い物袋の使用の有料化を導入													12		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			従来の通常精米から無洗米の使用に変えていくことで、水環境汚染の原因とされる「研ぎ汁」を減らす取り組みを推進							6.1 6.3 6.7								14			
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）		【予定】	「予定」環境マネジメント規格等については、取引状況や業界の取得状況を踏まえ、検討していく																		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			いきものみつけファームの活動を年間4～5回行っており、環境学習や体験を通じて情報発信をしています。							6						12.6			15		
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	「予定」精米工場の稼働エネルギーとして、発電等は検討していく																		
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			包装米袋などバイオマス原料を使用したものの仕入れを増やしています。													12.0					
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			入社時に社内規約を確認し、規約の遵守と誠実に勤務することを約束しています。																	17	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			取引先と契約書を交わして、社員の周知、取り決めに共有しています。																	16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			健康志向の高い「金芽米」を地域の学校給食などで使用してくなど普及に取り組みます。									9								17	17
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			勤務中に知り得た情報や技術など、在職中や退職後も外部には一切漏洩しないことを誓約書で取り交わしています。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			精米ハサップに基づいた生産ラインを構築して、生産管理をしています。													12					
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			取引先との契約書の中で、不正行為、反社会的勢力との関係がないことを確認しています。								8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・好評予定			3					8	9	10								17

[illegible]

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
一般財団法人 松本ヘルス・ラボの協力企業として行政活動に参加		全市民の健康増進のため「金芽米」の販売普及を進めています。誰もが食することできる環境と販売体制を構築していきます。	1		3											14			
いきものみっけファームin松本推進協議会への参画		地域の子供達や大人に環境保全、生物多様性などの重要性を学ぶ場を提供。年間の活動を通じて農業体験やいきもの観察、流通体験等を実施。		2										12		14	15		
金芽米（BG無洗米）を用いた循環型農業への取り組み		精米工程で発生する副産物（米の糠）を肥料とする取り組みを行います。金芽米（BG無洗米）を使用する企業・社員食堂などを増やし、循環型の農業の取り組みを広げます。	2.4	3										12		14	15		17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定